

ひろげる（伸張・伸長） ~わくわく登校 納得の下校~

☆前期後半スタート！

8月27日（水）から前期後半が始まりました。当日は、朝から気温が30度近くありましたが、汗をかきながらも両手には、沢山の夏休みの宿題を持ち、自分の足で元気に登校してきました。「校長先生おはようございます！」の元気な声を1ヶ月ぶりに聞き、やっぱり学校が始まるっていいなあとつくづく感じたところでした。前期後半は、1ヶ月しかありません。目標を達成できるよう、みんなと協力して頑張ってほしいものです。

さて、7月18日に育休代替だった平瀬美希先生、江口政子先生とお別れをし、寂しく思っていましたが、育休が終った弥山光里先生（2年生担任）と戸上友美先生（4年生担任）が復帰されました。お二人ともやる気満々で授業をスタートされています。またどうぞよろしくお願ひいたします。

◎第6学年校内キャンプ＆清里の絆が深まった【第2回清里夏祭り】

8月9日（土）～10日（日）にかけて、毎年恒例となっている6年生の校内キャンプが行われました。

また、翌10日（日）には、清里地区協議会主催の【第2回清里夏祭り】が本校体育館で行われました。

校内キャンプでは、市民プールでの水泳やカレー作り、肝試しなどを行いました。肝試しは、スリル体験が面白く2回も行い、楽しむことができました。大泣きした子もいましたね。

「清里夏祭り」当日は、本校体育館がありました。雨にもかかわらず、会場は、熱く盛り上がっていました。和太鼓やヒップホップダンス、沖縄の民謡エイサーなど沢山の出し物があったり、ヤクルトやラムネの早飲み大会があったり、最後には、豪華賞品が当たる恒例の抽選会があったりと、とても盛り上りました。

本校の子どもたちも低学年から高学年まで、意欲的に参加していました。この祭りは、参加型の出し物ばかりではなく、各ブースでのゲーム、PTAバザー、食べ物コーナーなどの出店があることに特徴があります。今年、例年と違ったのは、次の日行われた祭りに向けての準備があったことです。6年生は、「輪投げ」「ビー玉パチンコ」「水槽コインイン」の3つのゲームを考え、楽しいゲームコーナーになるよう試行錯誤を繰り返しながら準備を進めていました。

6年生もゲームブースを設け、準備した3つのゲームを行っていました。多くの人気を集め、子どもたちは勿論、大人も夢中になっていました。ゲームの景品もプラバンで作ったキーホルダーや持ち寄ったおもちゃを用意し、大好評でした。

夏休み前の企画から製作、運営まで、全て自分たちで行い、前日の校内キャンプの中で考えを出し合いながら準備する姿から子どもたちの成長していく姿を見ることができたとともに、地域への貢献を一つの形として積極的に表現したことに郷土への愛着も感じることができました。とても頼もしかったです。



迫力ある和太鼓の様子



6年生製作のゲームを楽しむ様子